

## 令和3年度第1回栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会(会議要旨)

日 時: 令和3年7月8日(木) 15:30~17:00

場 所: 栗東市総合福祉保健センター(なごやかセンター)集会室

出席委員: 堀委員、市木委員、稗田委員、渡邊委員、富永委員、船元委員、宮武委員、竹村委員、村山委員、  
青木委員、山本委員

欠席者: 石原委員

傍聴者: なし

1. 開会
2. 市民憲章 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため省略
3. 挨拶 会長、健康福祉部長より

### 4 協議事項

#### (1) 地域密着型サービス事業について

- ① 資料1 地域密着型サービス事業所の運営状況
- ② 資料2 第7期介護保険事業計画実績報告

#### ・質疑応答

**委員:** 総合事業の短期集中サービスCの利用が昨年度までずっとゼロで推移。何か理由があるのか。

**事務局:** 訪問型の短期集中サービスCでは昨年度栄養改善での利用あり。ケアマネジャーが栄養士の資格を持っていた人であり、利用者の低栄養の課題に気づき、利用につながった。利用する利点の説明が十分ではなかったかもしれない。今後ケアマネジャー等へ丁寧に説明していく。

**委員:** 資料2の給付実績。介護老人福祉施設の給付実績が6割となっている原因は。

**事務局:** 開所予定であった介護老人福祉施設の建設が遅くなってしまい実績値が下がってしまった。

#### (2) 地域包括支援センター運営について

- ① 資料3 令和3年度栗東市地域包括支援センター運営方針
- ② 資料4 令和3年度地域包括支援センター設置状況
- ③ 追加資料2 委託による地域包括支援センターの設置について
- ④ 資料5 介護予防・介護予防ケアマネジメント 委託事業所一覧
- ⑤ 資料6 地域包括支援センター 相談業務等 統計資料
- ⑥ 資料7 令和2年度 地域包括支援センター 実績報告
- ⑦ 資料8 令和3年度 地域包括支援センター 年間計画

## ・質疑応答

**委員**: 追加資料② 来年度以降の葉山地域包括支援センターの委託について、継続して同一法人に委託するというのか。

**事務局**: そのことも含めて検討中であり、当運営協議会にて今後協議させていただきたい。

**委員**: 資料6の包括的・継続的支援業務に関して葉山地域包括支援センターが一番多い状況。ケアマネジャーが困難と感じているケースが増えていることが要因か。

**包括**: ケアマネジャーへの支援以外にも、包括的・継続的に関わっているケースであれば計上している。実感としては困窮の人の対応も多いことも影響していると思われる。

**委員**: 意見として。栗東地域包括支援センターの報告より市の虐待対応マニュアルに基づき対応をしているとあったが、市のマニュアルが平成28年度に作成されたものを使用。できれば現状に即したものを作り替えてもらいたい。今対応中とは聞いているが、その際には地域包括支援センターの意見も聞きながら実行性のあるものにしていただきたい。

**事務局**: 現在虐待対応マニュアルの見直し中。各地域包括支援センターとも一緒に作成していく。

**委員**: ケアマネジャーや地域包括支援センターでケアプランを立てられているが、民生委員にも情報の共有をされているのかどうか。

**事務局**: (居宅介護支援事業所の)ケアマネジャーについては把握できていないが、地域包括支援センターは民生委員を初め、様々な方と関わりをもっており、民生委員とも比較的情報共有できていると思っている。最近では開催がされていないが、ケアマネジャーと民生委員との交流会も実施していたことがあり、地域包括支援センターからもそういった場が必要かもしれないと意見は出ている。

**包括**: ケアプラン自体を民生委員と共有はしていない。

**包括**: ケアプランそのものを一緒に共有するというよりは、地域で生活されている人を包括的に共有していることはある。これまでの生活をどれだけ続けられるかは民生委員とも一緒に相談している。今年は薬剤師との情報交換会を実施する予定であるが、今後は民生委員とも情報交換ができる場を開催したいと考えている。

**委員**: 民生委員のどの学区においても高齢者の問題は話し合いに出ている。情報公開できる範囲でケアプランも情報提供いただければ民生委員として見守り活動等で協力できるのではと考える。

**委員**: 資料6より地域包括支援センターに多くの市民が相談来ていることがわかる。爆発的に相談件数が伸びているが、今後もこの傾向が続くのかどうか。相談が増えることにより給付にも影響するのでは。

**包括**: これまで高齢化率が高くても申請なかった地域が、後期高齢者が増えてくることによって、相談が増加している状況は把握している。

**包括**: 4月は相談が多くあったが、5月6月は減っているので、年間を通せば増えるかどうか。冬場は相談が多い感覚。相談があれば全てが介護保険サービスに繋がっているわけではないので、相談件数の増加が給付の増加に直結するとは言えない。

**包括**: 市の窓口で相談に行っていた人が、地域包括支援センターの窓口で相談することが増えていることが影響していると思われる。

**委員**: 資料6の虐待相談件数減っているところ。市や栗東西地域包括支援センターから今後検討が必要という話がでていた。一般的にはコロナ禍において子どもの虐待やDV増えているところで、どこからの相談が減ったのかを分析してみても良いのでは。

事務局:現状としてどういった相談が減っているのかの分析までできていない。令和2年度には各地域包括支援センターが居宅介護支援事業所を訪問して虐待の通報について啓発しており、今年度も引き続き居宅介護支援事業所に訪問をして啓発と地域包括支援センターと顔の見える関係を構築しようと考えている。そのことで虐待について気軽に相談してもらえればと思っている。

(3) 認知症初期集中支援事業の取り組み状況について

①資料9 認知症初期集中支援事業の取り組み状況について

・質問応答

なし

(4) 令和3年度栗東市地域包括支援センター等運営協議会年間計画

①資料10 令和3年度栗東市地域包括支援センター等運営協議会年間計画

資料10には示せていないが、秋ごろに1度開催予定である旨を補足説明。

・質問応答

なし

(5)その他

①追加資料1より

・令和3年度より施行にともない、条例改正実施。感染症対策の強化、ハラスメントの強化、ICTの強化等改正を行った報告。

②口頭説明

・地域密着型特別養護老人ホームの開設を第8期介護保険事業計画の中で掲げている。第8期の最終年度の令和5年度までに準備し、令和6年に開設。来年度の早い段階で事業者を決定予定であることを報告。

・質問応答

なし

6. 閉会 副会長挨拶